

こじんよう ちようききゆうぎようきかん 個人用パソコン 長期休業期間

も かえ て び 持ち帰りの手引き

しょうがっこうよう
(小学校用)



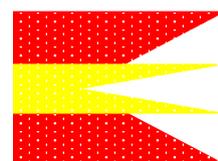
令和4年3月 宇都宮市教育委員会

- ★ この手引きには、みなさんが、家でパソコンを使って学習するときにがんばってほしいことや、必ず守ってほしいことが書いてありますので、よく読みましょう。
- ★ 夏休みや冬休みなど、長い間学校がお休みになる期間は、いつも学校で使っているパソコンの使い方に慣れるためのよい機会です。いろいろな学習に自分から進んで取り組み、授業の中で活用できるようにしましょう。
- ★ 安全に、責任をもって、お互いを思いやりながら、よりよい使い方を学びましょう。



やす ちゆう いえ
休み中に家でがんばって

ほしいこと



- ☆ 個人用パソコンを使って、ドリルや自由研究などの学習に、自分から進んで取り組みましょう。
- ☆ キーボードで文字をできるだけ速く打てるように、練習しましょう。
- ☆ パソコンで自分ができるようになったことを、家の人に見せられるようにしましょう。

がっこう も かえ こしょう まん いち
学校から持ち帰ったパソコンが故障したり、万が一なくなったりしたときは、すぐに担任の先生に連絡しましょう。

がっこう でんわばんごう
富屋小学校の電話番号 028-(665)-(0009)



やす ちゅう かてい しょう まも 休み中の家庭での使用で守ってほしいこと

① 持ち帰りについて

なが やす まえ こじんよう がっこう
長い休みの前には、個人用パソコンなど、ふだん学校においてある
がくしゅうようぐ いえ も かえ いちど にもつ も かえ
学習用具を、家に持ち帰ります。一度にたくさんの荷物を持ち帰ること
のないように、計画的に何回かに分けて、持ち帰りましょう。

② 学習への活用について

- きょうみ かんしん しら みぢか
興味や関心があることをインターネットで調べたり、身近なものを
しゃしん じゅうけんきゅう せっきよくてき と く
写真にとったりして、自由研究などに積極的に取り組みましょう。
- がたこべつがくしゅう つか じゅぎょう がくしゅう み
AI型個別学習ドリルを使って、授業で学習したことが身について
いるかを十分に確認しましょう。

③ 健康について

- め がめん いじょうはな つか
目を画面から30cm以上離して使うようにしましょう。
 - じかんつか ぶんやす
1時間使ったら、10分休むようにしましょう。
 - ひつよういじょう なが じかんつか
必要以上に長い時間使わないようにしましょう。
 - ね じかんまえ つか
寝る1時間前からは使わないようにしましょう。
- よる じ ぶん あさ じ ぶん せつぞく
(夜の9時30分から朝の6時00分までは、インターネットに接続
できないようになっています。)

④ 保管について

- あんぜん き ばしょ ほかん
安全な、決められた場所で保管しましょう。
- がっこう も かえ じゅうでん ほかん
(学校から持ち帰った充電アダプターも、いっしょに保管します。)
- うえ もの あいだ もの
上に物をのせたり、間に物をはさんだりしないようにしましょう。
 - の もの た もの ちか お
飲み物や食べ物や飲み物を近くに置かないようにしましょう。



⑤ その他

- がくしゅう つか
学習のために使うようにしましょう。
 - ともだち れんらく つか
友達との連絡に、パソコンを使わないようにしましょう。
- だれ つか きろく
(誰が、どれくらい、どのようにパソコンを使ったのか、すべて記録が
のこ
残るようになっています。)

オンラインで使用できるデジタルコンテンツの紹介

「AI型個別学習ドリル」

(※令和4年3月30日まで使えます。)

○「AI型個別学習ドリル」とは、一人一人の理解度に応じた問題が自動で出題・採点されるデジタルドリルソフトです。

○小学校で学習する国語・社会・算数・理科・英語の問題があります。

○それぞれのペースで先に進んだり、前の学年にもどったりして学習することができます。



「eboard(イーボード)」

<https://info.eboard.jp/>

○約2,000本の映像授業（動画）と10,000問のデジタルドリルがあります。

○苦手なところや授業で分からなかったところを、動画を見て確認することができます。

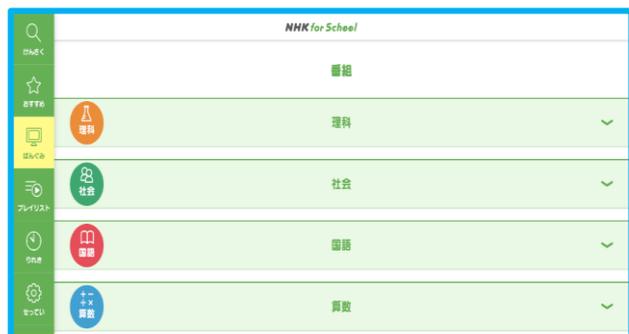


「NHK for School」

<https://www.nhk.or.jp/school/>

○学年や教科ごとにさまざまな動画資料があります。

○キーワードを入力すると、自分が見たい動画資料をすぐに探し出すことができます。



チャレンジしましょう！

○自分のパソコンにある、いろいろなアプリを使ってみましょう。



タイピング練習



絵



プログラミング



音楽



使いやすいように、文章読み上げなどのユーザー補助機能を設定するなど、自分で判断し、「自分のパソコン」として大切に扱きましょう。